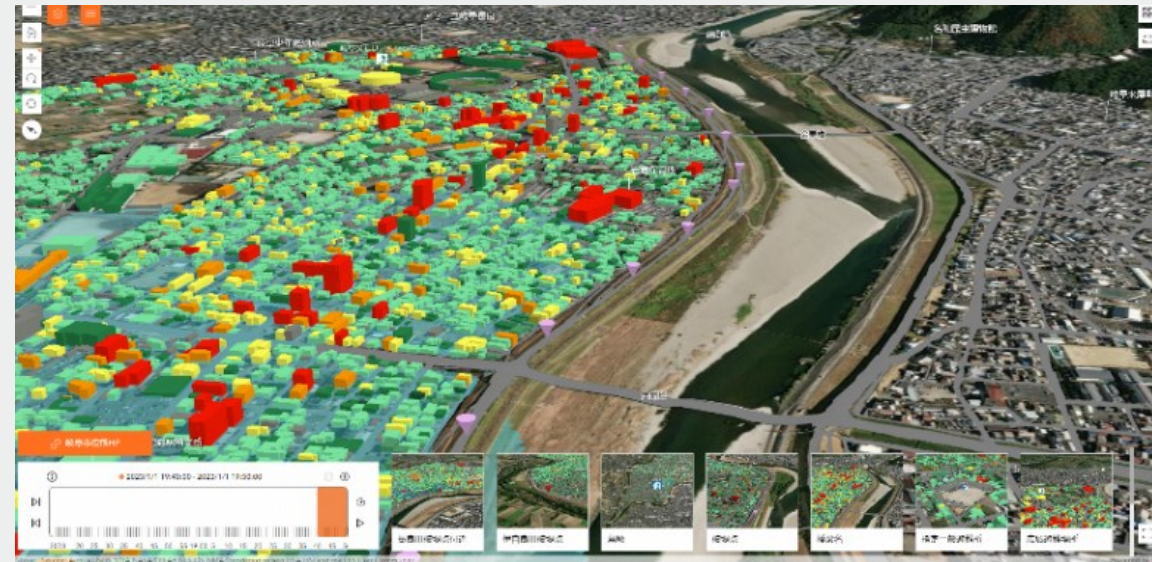




都市空間情報デジタル基盤構築支援事業の概要



全国の地方公共団体における3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するための補助制度（令和4年度創設）

補助対象及び補助要件

補助対象事業

- (1) 3D都市モデルの整備に関する事業
- (2) 3D都市モデルの活用に関する事業
- (3) 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進事業

補助対象団体

都道府県、市区町村等の地方公共団体

◆ 通常タイプ

補助率 1/2（上限なし）

補助要件

- ✓ ユースケースがあること
※原則、単年度で3D都市モデルの整備とユースケース開発を行うこととしている
- ✓ 国が定める標準仕様書及び標準作業手順書に基づく国際標準規格であるCityGML形式でデータを作成すること
- ✓ 整備した3D都市モデルをG空間情報センター等にてオープンデータ化すること
- ✓ 整備した3D都市モデルを維持管理・更新すること

◆ 早期実装タイプ

補助率 10/10（上限1,000万円までの定額補助）

※1,000万円を超える事業費は地方負担となる

補助要件

- ✓ 通常タイプの要件を満たすこと
- ✓ 事業計画の初年度の事業に限る
※以降は通常タイプでの採択となる
- ✓ 早期に課題解決や新たな価値創造が図られること（当該年度の事業において3D都市モデルの活用を達成すること）

3D都市モデル整備・活用に係る補助対象①

(1) 3D都市モデルの整備に関する事業

3D都市モデルの整備又は更新に要する費用

補助対象

- ✓ 3D都市モデルを整備するための都市計画基本図、都市計画基礎調査等のデータ収集・整理に要する費用
- ✓ モデル立ち上げに要する費用
- ✓ 作成データを可視化するためのシステム導入・改修に要する費用
- ✓ オープンデータ化に要する費用
- ✓ その他調査経費 等

(補足)

- ・都市計画区域の有無は関係ない
- ・市街化区域など部分的な3D都市モデルの整備も可能



3D都市モデル整備・活用に係る補助対象②

(2) 3D都市モデルの活用に関する事業

地方公共団体における課題解決又は新たな価値創造に資する3D都市モデルの活用に必要な費用

補助対象

- ✓ ユースケース開発に必要なデータ収集・3Dデータ作成に必要な費用
- ✓ データを活用した分析・シミュレーション・アプリ開発等に必要な費用
- ✓ 作成・分析したデータの政策活用（庁内活用も含む）に必要な費用
- ✓ 住民説明等に必要な費用 ✓ その他調査経費 等



- ◆ 浸水シミュレーション
- ◆ 浸水災害リスク情報の可視化
- ◆ 住民説明用の動画作成
⇒ 防災施策への反映



- ◆ 再開発、連立化等の可視化
- ◆ 都市構造・交通状況の可視化
- ◆ 交通シミュレーション
⇒ まちづくり施策への反映

3D都市モデル整備・活用に係る補助対象③

(3) 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進事業

地方公共団体において整備・活用・オープンデータ化を推進するために要する費用

補助対象

- ✓ 3D都市モデルを活用したシミュレーションを実施するために必要なパソコン等の購入に要する費用
- ✓ 3D都市モデルの整備・活用を推進するためのアイデアソン・ハッカソン等地域イベントの開催に要する費用
- ✓ その他調査経費 等

今後アイデアソンの写真が出てきたら
入れたいと思っています

地方公共団体における活用事例（ユースケース事例）

カテゴリー	主な活用目的・活用事業
防災・防犯	災害リスク・避難路の可視化および災害発生時の被災状況の共有
	交通事故リスクの可視化
	通学路交通安全プログラムの高度化事業
	ハザードマップの3D化
	災害リスクの可視化、防災教育活用事業
	土砂災害リスク対応策の構築
	時系列浸水シミュレーションデータ・土石流シミュレーションの作成
	事前復興準備への活用事業
	延焼シミュレーション
環境・エネルギー	市街地エリアにおける風・温熱環境シミュレーション
	太陽光発電パネル設置ポテンシャルシミュレーション
	業務ビルにおけるCO2削減シミュレーション
地域活性化・観光	3D都市モデルを活用した賑わい創出
	カーレースアプリ作成によるシティプロモーション業務
	XRプラットフォームを軸としたエコシステムの構築

カテゴリー	主な活用目的・活用事業
都市計画・まちづくり	ランドマーク等からの眺望の可視化シミュレーション
	駅前再整備ビジョンの可視化事業
	まちづくり関連施策検討事業
	人流情報活用事業
	3D都市モデル×3Dビューワによる街の可視化事業
	景観まちづくりDX
	公共施設ゾーン再整備検討事業
	都市計画情報可視化事業
	施設管理の可視化事業
	地区開発シミュレーションを活用したまちづくり都市計画立案への活用
	交通解析利活用事業
その他	景観保存・整備事業
	3D都市モデルを活用した盛土等現地調査管理の効率化
	ドローンロボットトラクターの運行履歴の可視化による運行計画作成検討
	3Dモデルを活用した医療MaaS

※過去の活用事例は、事例集として国土交通省HPで公開しています。

● [令和4年度版](#)

● [令和5年度版](#)

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 実施スケジュール

項目		1Q			2Q			3Q			4Q		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	各団体 実施計画書の作成	実施計画書作成		ヒアリング、適宜資料修正									
2	データ整備			データ整備完了（10-11月）									
						データ中間検査（8-9月）★			データ納品（12月まで）★				
3	ユースケース開発					ユースケース開発完了（12月まで）							
4	オープンデータ化				データ譲渡手続きの準備						G空間情報センターへの掲載（2月まで）		
5	成果取りまとめ								ドキュメント作成完了（3月）				

次年度事業実施に向けた補助要望スケジュール（予定）

◆ 採択は企画熟度に応じて検討しますので、早い段階でエントリー・ご相談ください。

4～5月頃	3D都市モデル操作体験会
6月頃	概算要望調査① 補助事業全国説明会
7月～8月頃	同提出団体等へのヒアリング、企画支援
9月頃	概算要望調査②
10月～12月頃	同提出団体へのヒアリング、企画支援
12月～1月	<u>本要望調査</u>
3月末頃	内示示達

※実施時期等につきましては、変更の可能性がございます。

ご不明な点がございましたら、下記担当者宛ご連絡ください。

- ◆ 支援事務局（受託事業者）
株式会社三菱総合研究所
検討団体支援チーム 三宅、坂井
E-mail : plateau_support@mri.co.jp
TEL : 03-6858-3697

- ◆ 国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課 デジタル情報活用推進室
担当 村山、蒲谷、野田
E-mail : murayama-h82ac@mlit.go.jp
 kabaya-t22w@mlit.go.jp
 noda-t2v4@mlit.go.jp
TEL : 03-5253-8422